

2024年度一般社団法人四国ツーリズム創造機構 理事会・臨時社員総会を開催

(ブランディング)

3月24日（月）、当機構の2024年度理事会と臨時社員総会を開催しました。

理事会では、「2024年度事業報告（案）及び決算見込報告（案）」（第1号議案）と「2025年度事業計画（案）及び収支予算（案）」（第2号議案）、「会員の新規入会（案）」（第3号議案）についてご審議いただき、理事の皆さまからのご承認をいただきました。

また、臨時社員総会では、理事会と同様に、「2024年度事業報告（案）及び決算見込報告（案）」（第1号議案）と「2025年度事業計画（案）及び収支予算（案）」（第2号議案）についてご審議いただき、社員（協賛会員）の皆さまからご承認をいただきました。

なお、この春の人事異動により、愛媛県の渡部理事、香川県の多田理事、全日本空輸（株）の柏木理事、徳島県の佐藤理事、（株）日本旅行の時永理事の5名が、3月末をもって理事を退任されることとなりました。皆さまには、長らく当機構の運営にご理解とご協力をいただきましたこと、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

4月からは当機構も新体制で、四国の広域周遊観光推進に向けて、関係機関との連携を強化しながら、職員一同各事業に取り組んでまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

なお、当会議で承認いただきました第1号議案、第2号議案については、6月9日（月）に予定しております理事会、定時社員総会及び全体会議で改めてご報告させていただきます。

（実施日）2025年3月24日（月） （実施場所）かがわ国際会議場（香川県高松市）
（機構参加者）半井代表理事、桑村本部長、松本統括副本部長ほか11名



<理事会の様子>



<臨時社員総会の様子>

CYCLE MODE RIDE OSAKA2025に出展

(ブランディング)

3月1日（土）、2日（日）の2日間、大阪万博記念公園で開催された、西日本最大のスポーツサイクルフェスティバル「CYCLE MODE RIDE OSAKA2025」に、四国4県と当機構などで構成される「サイクリングアイランド四国推進協議会」として出展しました。

多くのサイクリストが試乗体験などの各種イベントを楽しんでいるなか、協議会では、「ジテンシャ×旅フェア」ブースで、四国一周サイクリングチャレンジや四国4県の魅力あるサイクリングルート、サイクリングでの四国遍路などのPRを行いました。

2日目はあいにくの雨模様でしたが、多くの方々にご来場いただき、四国までの交通手段やおすすめルートなどのご質問をいただいたほか、「サイクリングで四国遍路に挑戦したい」といった嬉しいお声をいただきました。

次ページに続く

引き続き、サイクリングアイランド四国推進協議会と連携して、四国への誘客とサイクリングアイランド四国の確立に向けて取り組んでまいります。

(開催日) 2025年3月1日(土)、2日(日)
(開催場所) 万博記念公園(大阪府吹田市)
(機構参加者) 鎌田チームマネジャー、井上マネジャー
佐伯マネジャー



<会場の様子>

DMP意見交換会のフィードバック及び 2024年度格納ダッシュボードに関する説明会を実施

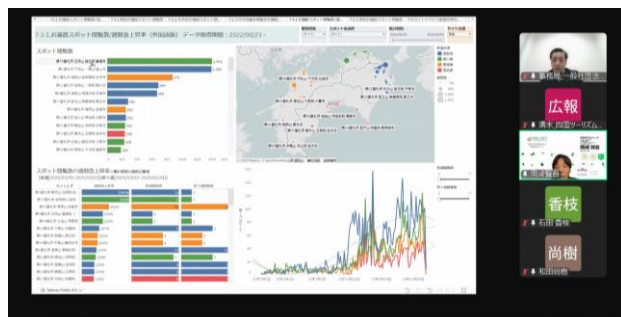
(ブランディング/DMP)

3月12日(水)、当機構のDMP運用事業の一環として、四国4県の観光担当者や観光協会、四国内のDMOなどを対象に、「DMP意見交換会のフィードバック及び2024年度格納ダッシュボードに関する説明会」を開催しました。

説明会では、今年度構築した5つのデータダッシュボードと、1月に開催した「DMP活用推進に向けた意見交換会」での意見を踏まえた改善点を説明しました。また、データの活用方法として、戦略・計画立案のための四半期・年度ごとの分析と、日々の変化を捉える日次更新データの活用について、具体例を示しながら紹介しました。その上で、効果的なデータ分析には比較が重要であり、データの差異から施策の方向性を見出すことが重要であると解説しました。

当機構では、会員の皆さまがデータに基づいた施策立案・実行ができるよう、データ文化の醸成を目指して、引き続き、DMPに関する事業を展開してまいります。

(実施日) 2025年3月12日(水)
(実施場所) オンラインで実施
(参加者) 同時接続数28回線
(機構参加者) 清水CMO、井上マネジャー



<説明会の様子>

【今年度構築したデータダッシュボード】

- ・インバウンド消費動向調査(旧訪日外国人消費動向調査)
- ・太龍寺ロープウェイ月別輸送人員
- ・「遍路大使任命書」(*)の年別、出身国別授与数
- ・四国観光・旅アプリ「しこくり」ユーザーのGPS回遊データ
- ・「欧米豪旅行者向け動向調査」(当機構実施調査)

(*)
NPO法人遍路とおもてなしネットワークが、「前山おへんろ交流サロン」を訪問した、歩き遍路または自転車遍路での結願者に授与。直近2023年(1~12月)では448名に授与。

Setouchi Vélo協議会福山ミーティングに参加

(ブランディング)

3月17日(月)、広島県福山市で開催されたSetouchi Vélo協議会福山ミーティングに参加しました。会議前のトライアルライドでは、参加者がe-bikeで福山市かわまち広場から芦田川沿いを走り、鞆の浦まで約12kmを走破しました。会議では、「自転車を活用した地方創生」と題して、しまなみ海道を契機とする愛媛県の自転車政策について、愛媛県東京事務所の河上所長による講演がありました。その後のパネルディスカッションでは、プロサイクリストの門田基志氏を進行役に、自治体やサイクル雑誌編集長らが世界の自転車施策やSetouchi Véloによる更なるサイクリング普及の可能性を議論しました。

次ページに続く

当機構では、Setouchi Vélo協議会が掲げる「瀬戸内地域やその周辺地域を、環境に配慮した、安全で快適な、世界に認められる『サイクリングの推進エリア』にしたい」という理念のもと、引き続き、連携協力してまいります。

(会議開催日) 2025年3月17日(月)

(会議開催場所) 広島県民文化センターふくやま ほか(広島県福山市)

(機構参加者) 鎌田チーフマネージャー



<トライアルライド出発前>



<記念講演の様子>



<パネルディスカッションの様子>

四国観光・旅アプリ「しこくるり」ダウンロード数5万人突破！！

(マーケティング)

2020年8月にリリースした四国観光・旅アプリ「しこくるり」は、2023年8月16日にダウンロード数が3万人、2024年3月4日に4万人を突破するなど、多くの皆様にダウンロードいただいておりますが、この度、2025年3月17日をもってダウンロード数が5万人を突破いたしました。ひとえに当アプリへのご参画やPRのご協力をいただきました当機構会員さまや各種事業者さま、アプリをご利用いただいておりますユーザーさまのおかげです。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。引き続き、アプリをご利用いただくことで地域周遊と四国内周遊につながるよう、アプリ内で利用できる施設やデジタルチケットの拡充などに努めてまいります。

なお、2025年4月2日(水)から4月30日(水)まで、ダウンロード数5万人突破を記念したキャンペーンを実施いたします。是非、この機会にダウンロードのうえ、ご応募ください。

しこくるりの詳細は
こちらからご覧いただけます



(ダウンロード数の推移)

2020年8月 四国観光・旅アプリ「しこくるり」リリース
2023年8月16日 ダウンロード数3万人達成
2024年3月4日 ダウンロード数4万人達成
2025年3月17日 ダウンロード数5万人達成



また、皆さまに「しこくるり」をよりご利用いただきやすくなるよう、「旅ばす」ポイントについて、4月1日(火)のご購入分から、次のとおり仕様を変更いたしましたので、併せてご確認ください。

この度の変更で、より多くの皆さまにご利用いただき、おトクな旅を楽しんでいただけますと幸いです。

【変更点】

- ① 旅ばす購入金額を**値下げ**：(変更前) 6ポイント 2,500円 ⇒ (変更後) 6ポイント **2,400円**
- ② 旅ばす初回利用後の**有効期限を延長**：(変更前) 30日 ⇒ (変更後) **60日**

旅行会社セールスを実施

(マーケティング)

この度、首都圏（神奈川県・千葉県・埼玉県）、中部圏（愛知県）、関西圏（大阪府）の旅行会社に対してセールスを実施しました。

昨年度に引き続き、教育旅行（修学旅行）を取り扱う旅行会社の営業支店を訪問し、当機構で制作している教育旅行用のSDGs体験プログラムパンフレットや四国4県から提供いただいた素材を用いながらセールスを行いました。

また、首都圏から四国への教育旅行などの誘致を図るため、旅行会社が求めている情報や課題などのヒアリングを併せて実施しました。その他、個人向け・団体向け旅行商品の造成部署を訪問し、昨年10月に実施した当機構の四国観光商談会時点から更新された観光情報のPRや商品造成の依頼などを行いました。

(実施地域／実施日／訪問旅行会社数／訪問部署数)

首都圏（神奈川・千葉・埼玉）／2025年3月3日（月）～7日（金）／9社／20部署

中部圏（愛知）／2025年2月25日（火）～27日（木）／8社／11部署

関西圏（大阪）／2025年3月11日（火）～13日（木）／9社／14部署

(機構参加者) 長谷部チームマネジャー、別宮マネジャー

2025年度四国地区ジャルパック国内事業計画説明会・情報交換会に参加 (マーケティング)

3月6日（木）、愛媛県松山市で、2025年度四国地区ジャルパック国内事業計画説明会・情報交換会が開催されました。2025年度事業計画の説明に加え、JALパックアワード2024受賞施設の紹介が行われ、当機構の会員であるJRホテルクレメント高松さまが四国エリアでのJALパック大賞を受賞されました。



<説明会・意見交換会の様子>

(開催日) 2025年3月6日（木）

(開催場所) ホテル椿館（愛媛県松山市）

(機構参加者) 桑村本部長、松本チームマネジャー

インバウンド対応ガイドと観光事業者の情報交換会に参加

(マーケティング)

3月7日（金）、愛媛県の主催で、インバウンド向けのコンテンツやツアーを提供する観光事業者とインバウンドガイドとのマッチングイベントが開催され、当機構も参加しました。当機構の事業説明を行うとともに、愛媛県や瀬戸内エリアを中心に活動する16名のガイドの方々と個別に情報交換を行いました。



<当機構による事業説明の様子>

(開催日) 2025年3月7日（金）

(開催場所) 松山市民会館（愛媛県松山市）

(参加者) 観光事業者8団体、ガイド16名

(機構参加者) 松本チームマネジャー、竹内チームマネジャー

せとうち讃岐ジオパーク構想推進シンポジウムに参加

(その他)

3月3日（月）、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構主催の「せとうち讃岐ジオパーク構想推進シンポジウム」が、四国クリエイト協会、香川経済同友会、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会、せとうち讃岐ジオ・ガストロノミー・ツーリズム研究会の共催、香川県、高松市、香川県観光協会の後援により開催されました。シンポジウムでは、香川大学の上田学長、香川県の池田知事からの挨拶の後、せとうち讃岐ジオパーク構想推進準備委員会の委員長を務める香川大学の長谷川修一特任教授から、ジオパーク構想に関する活動報告がありました。

また、「ジオ・グルメの聖地香川を目指して」と題して、ジオリブ研究所所長の巽好幸氏から、瀬戸内海の成り立ちや地質に基づいた地元グルメの魅力の伝え方などを提案する基調講演の後、「地域のアイデンティティとシビック・プライドを強化する せとうち讃岐ジオパーク構想の推進」と題して、香川県地方創生特別参与の工代祐司氏、香川県観光協会会長の三矢昌洋氏、ジオリブ研究所プロデューサーの岡田一雄氏、三好ジオパーク地質専門員の殿谷梓氏、当機構の半井真司代表理事がパネリストとなるパネルディスカッションが行われ、ジオパーク構想の推進などに向けて、多角的な視点から意見交換などが行われました。

シンポジウム全体を通して、地域の食と風土・歴史・文化との結びつきを楽しむ観光の可能性や、ジオツーリズムによる地域活性化の可能性について考える機会となりました。

（開催日時）2025年3月3日（月）13:30～17:00

（開催場所）香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア多目的ホール（香川県高松市）

（当機構参加者）半井代表理事 ※パネリストとして参加、桑村本部長、神野副本部長ほか2名



<パネルディスカッションの様子>

土佐清水観光びらき2025に参加

(その他)

3月9日（日）、今年の高知県西部の幡多エリアへの観光客拡大を祈って開催された「土佐清水市 観光びらき2025」に参加しました。

幡多エリアの市町村代表者や関係者などが出席され、あしずり太鼓によるオープニングの後、関係者が挨拶し、鏡開きが行われました。

（開催日）2025年3月9日（日）

（開催場所）竜串ビジターセンター（高知県土佐清水市）

（機構参加者）松本統括副本部長



<関係者による鏡開きの様子>

第3回せとうち魅力発見会議に出席

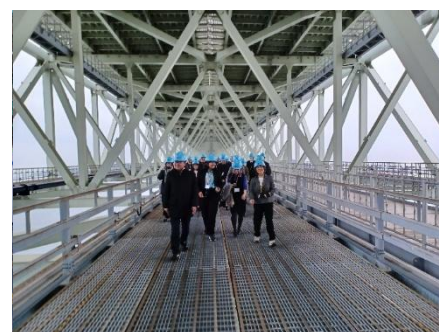
(その他)

3月13日（木）、本州四国連絡高速道路（株）主催の「第3回せとうち魅力発見会議」に出席いたしました。会議では、「インバウンド顧客需要の取り込み」をテーマに、参加された5団体からインバウンド誘致の取り組み事例をご紹介いただくとともに、「インバウンドの需要の取り込みと課題」をテーマとしたグループディスカッションを行いました。また、引き続き実施された「明石海峡大橋見学」では、舞子海上プロムナードに加え、普段は立ち入ることができない橋梁管理通路などを徒歩で見学しました。引き続き、様々な関係団体と意見交換などを行うことで連携を強化しながら、四国への誘客を推進してまいります。

（開催日） 2025年3月13日（木）
（開催場所） ホテルセトレ神戸・舞子（兵庫県神戸市）
（参加者） 41団体58人
（機構出席者） 鎌田チームマネジャー、竹内チームマネジャー



<グループディスカッションの様子>



<明石海峡大橋見学の様子>

関空T1リノベーション グランドオープン記念式典に出席

(その他)

この度、関西国際空港は、第1ターミナルの改修工事が完了し、3月27日（木）にグランドオープンを迎えました。これに先立ち、3月15日（土）に、グランドオープンと開港30周年を祝う記念式典が開催され、関西国際空港からの誘客に関して日頃より協力いただいている関西エアポート（株）との関係から、当機構も同式典に招待いただきました。

現在、関西国際空港の国際線到着ロビーに設置された観光PRブースでは、四国のPR動画の投影や、映像・音声・振動で観光地を疑似体験できる「バイブロスコープ（触覚風景）」を活用したプロモーションを実施しております。機会がありましたら、是非、お立ち寄りください。

（開催日） 3月15日（土）（開催場所） ホテル日航関西空港（大阪府泉佐野市）
（機構出席者） 桑村本部長



<関西エアポート山谷社長>



<吉村大阪知事>



<鏡開きの様子>

令和6年度まちあるきガイド連絡協議会に出席

(その他)

3月18日(火)、岡山県倉敷市で開催された(公社)日本観光振興協会主催の「令和6年度まちあるきガイド連絡協議会」に出席しました。本連絡協議会は、近年増加・多様化する訪日外国人観光客(インバウンド)への対応と、観光ガイド人材の育成を目的として開催しているもので、当日は、全国各地のまちあるきガイド連絡協議会をはじめ、当機構などのDMOや各地の運輸局など、多くの方々が出席され、先進的な事例紹介や、課題解決に向けたワークショップなどが実施されました。

当機構も、アドベンチャートラベルのガイド育成に関する取り組みとして引き続き、ガイド研修などを実施していく予定です。

(開催日時) 2025年3月18日(火)

(実施場所) セとうち児島ホテル(岡山県倉敷市)

(機構参加者) 清水CMO



<協議会の様子>

三豊市観光基本計画お披露目シンポジウムに出席

(その他)

3月22日(土)、「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」の会員である香川県三豊市で開催された「三豊をもっと好きになる 三豊市観光基本計画お披露目シンポジウム」に出席しました。本シンポジウムは、三豊市の観光における基本戦略をまとめた「第3次観光基本計画」(2025年度～2029年度)の策定を受けて、住民や関係者に向けてその内容を披露する場として開催されたもので、新たな基本計画では、基本戦略の一つとして「サステナブルな観光の推進」に取り組むことが明記されています。第2部のパネルディスカッションでは、「『観光地域づくり』とは、まず住民の暮らしを守り、その上で住民の収入を拡大させること」「三豊の美しい景色や文化を守り、これらの地域資源を観光に活かすことで、地域住民と観光客双方に三豊市を好きになってもらうことができるのではないか」といった意見が挙がるなど、三豊市の「持続可能な観光」推進に向けた積極的な姿勢が強く印象に残るシンポジウムでした。

(開催日時) 2025年3月22日(土) 13:30～15:30

(開催会場) 三豊市市民交流センター(香川県三豊市)

(機構出席者) 桑村本部長、井上マネジャー

三豊市の「第3次観光基本計画」は
こちらからご覧いただけます



<三豊市第3次観光基本計画>



<シンポジウムの様子>



<パンフレット>

高松空港 高松⇄台北線 デイリー化 & 高松⇄台中線 増便 セレモニーに参加

(その他)

3月30日(日)から、高松-台北線の運航(チャイナエアライン)が週5日の運航からデイリー化されるとともに、高松-台中線の運航(スターラックス航空)が週3日から週5日の運航に増便されました。これを記念して、31日(月)に高松空港で記念セレモニーが開催されました。

(開催日時) 2025年3月31日(月)

(実施場所) 高松空港旅客ターミナル2階 国際線出発ロビー
(香川県高松市)

(機構参加者) 桑村本部長



<高松空港 小幡社長>

今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

4月から新年度が始まり、会員の皆さまにおかれましても、初めて観光関連の業務に就かれた方もいらっしゃるかと思います。そこで今月は、今後ますますの増加が期待されるインバウンドを中心に、役に立つ「情報」、「データ」、「ツール」などを紹介させていただきます。タイトルをクリックまたは二次元コードを読み取っていただくことで対象ページに遷移しますので、ご参考にしていただければ幸いです。

【基本計画】

① 観光立国推進基本計画(観光庁)

「持続可能な観光」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」をキーワードに、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の3つの戦略について記載されています。



【インバウンド関係】

② 訪日旅行データハンドブック(JNTO) ※2024年以後は「日本の観光統計データ」を参照ください

“海外市場ごとの情報”が詳細にまとめられています。



③ 訪日外客統計(JNTO)

“訪日外国人数”が確認できます。ニュースなどで「20××年1～12月のインバウンド旅行者数は〇〇人」と報道されますが、こちらの統計から引用されているものです。基本的に全国計の数値ですが、都道府県訪問率も算出されているため、都道府県ごとの推計も算出できます。



④ 宿泊旅行統計調査(観光庁) ※機構DMPで一部可視化

日本で“宿泊する外国人の数”を、都道府県単位、四国単位で確認できます。上記観光立国推進基本計画においても「訪日外国人旅行者一人あたりの地方部宿泊数を令和元年実績の1.4泊から令和7年までに2泊」とすることが掲げられているなど、重要な調査です。



⑤ インバウンド消費動向調査(旧 訪日外国人消費動向調査)(観光庁) ※機構DMPで一部可視化

訪日外国人が旅行時に“いくら消費しているか”を国別と都道府県単位で確認できます。



【日本人旅行者関係】

⑥ 旅行・観光消費動向調査(観光庁) ※機構DMPで一部可視化

日本人が旅行時に“いくら消費しているか”を都道府県単位で確認できます。



【観光地域づくり法人（DMO）や観光地域マーケティング関係】

⑦ 観光地域づくり法人（DMO）による観光地域マーケティングガイドブック（観光庁）



DMO（※）だけでなく、関係する地方公共団体や観光関係事業者においても観光地域マーケティングが重要視されています。ガイドブックでは、観光地域におけるマーケティング活動とは何か、どのようにマーケティングを行っていけばよいのかなどについて、わかりやすく実践的にご紹介されています。

※観光地域づくり法人（DMO）とは、地域の「稼ぐ力」向上と誇り醸成を目指す地域経営の司令塔として、多様な関係者と協同し、明確な戦略策定と実行調整により観光地域づくりを実現する法人です。



⑧ 登録観光地域づくり法人「登録DMO」の形成・確立計画（観光庁）

四国内だけでなく、全国のDMOに関する基礎的なマーケティング情報が確認できます。

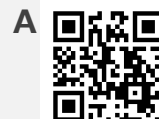


⑨ 「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」の改正について

DMO機能強化のため、観光庁においてDMOの登録制度が改正されています。

【データ可視化ツール】

A. RESAS「地域経済分析システム」（内閣府）



観光マップ上から、インバウンド消費分析で旅行消費単価が閲覧可能です。また、観光地分析は、観光地と国内客滞在人口をメッシュデータで閲覧することが可能です。

B. 日本の観光統計データ（「JNTO」）



各種データをJNTOで集約したDMPです。

C. 四国の観光データ（当機構DMP）（※）



四国内の観光情報を可視化しています。先にご紹介した「宿泊旅行統計調査」、「旅行・観光消費動向調査」、「インバウンド消費動向調査（旧 訪日外国人消費動向調査）」についても、DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）による可視化でデータ感覚として掴むことができます。

※当機構DMPは当機構の会員さまは無料でご利用いただけます。

なお、ご利用の際の「ユーザー名」及び「パスワード」は、既にご案内しているものをご利用ください。

ご不明の場合は、別途お問い合わせください。

当機構のメンバー4名が帰任しました

4月1日付の人事異動で、(公財)高知県観光コンベンション協会に異動することになりました。機構では、1年目はシニアマネジャーとしてブランディングチームに所属し、2年目、3年目は統括副本部長として幅広い職務を経験させていただきました。皆様には、3年間大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

(公財)高知県観光コンベンション協会では、誘致推進本部長として、四国の皆さまとも関わることがあると思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

後任は、愛媛県から着任される伊藤統括副本部長となります。私と変わらぬご指導、ご鞭撻を頂きますと幸いです。

また、高知県からは、長山マネジャーがインバウンドチームに着任いたしますので、引き続き、よろしくお願いいたします。本当にお世話になりました。ありがとうございました。



統括副本部長 松本栄志

マーケティングチーム(国際誘客)の鎌田です。この度、4月より出向元の本州四国連絡高速道路株式会社に帰任することとなりました。

機構では1年の在籍となりましたが、関係の方々には、ご丁寧にご接していただきありがとうございました。こちらで名刺交換をさせていただきました人数は600名を超えたので、私の財産のひとつとなっています。

4月以降は、観光事業とは異なる部署の配属となりますが、「四国は1つ」の言葉を心に込めて、当機構の更なる発展をお祈りしています。



チームマネジャー 鎌田美知

マーケティングチーム(国際誘客)の大上莉賀子です。この度、4月1日付の人事異動で出向元の徳島県に帰任することとなりました。

機構には2年間在籍し、1年目はブランディングチーム、2年目はマーケティングチームで国際誘客を担当させていただきました。観光分野の経験もなく着任いたしましたが、2年間で幅広い業務を経験させていただき、多くのことを学ぶことができました。至らぬ点も多々あったかと存じますが、皆さまには大変お世話になり、感謝申し上げます。

4月からは観光誘客課に配属となり、引き続き、観光分野で業務します。皆さまとお仕事をさせていただく機会もあると思いますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

また、徳島県からは流マネジャーが国内誘客担当に、私の国際誘客担当の後任には、高知県から長山マネジャーが着任します。両名にも変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。改めて、2年間お世話になりました。ありがとうございました。



マネジャー 大上莉賀子

マーケティングチーム(国内誘客)の佐伯友里恵です。この度、4月1日付の人事異動で出向元の愛媛県に帰任することとなりました。

機構では、2023年からの2年間、国内誘客を担当し、四国観光・旅アプリ「しこくり」の利用促進、ツーリズムEXPOへの出展、サイクルツーリズム推進、NEXCO西日本との連携事業、観光ガイドマップの作成など、多くの事業に携わせていただきました。B to C向けのイベントに参加することが多く、一般の方々とコミュニケーションを図りながら、四国をPRすることは非常に楽しい時間でした。また、会員の皆さまや四国の様々な地域の方々と一緒に活動をさせていただいたことは、私にとって大きな財産となりました。

愛媛県への帰任後は、観光国際課に配属となり、国内プロモーションを担当します。機構での経験を活かし、引き続き四国への誘客促進に貢献できるよう努めてまいりたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

なお、愛媛県の後任には、新たに伊藤が統括副本部長として着任します。お力添えの程、どうぞよろしくお願いいたします。2年間という限られた期間ではありましたが、皆様大変お世話になりました。



マネジャー 佐伯友里恵

4月からの新メンバーを紹介します



統括副本部長 伊藤 淳

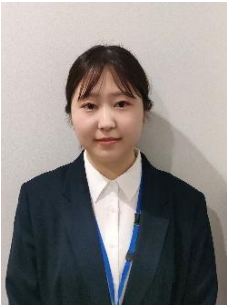
4月より、愛媛県から出向し、統括副本部長に就任いたしました伊藤と申します。

機構のメンバーとともに、四国全体の魅力発信、誘客促進に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



マネジャー 三好 楓

本州四国連絡高速道路（株）から出向してまいりました、三好と申します。この度、国際誘客を担当することとなりました。大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭など目白押しなこの2025年、さらなる四国の観光誘客の促進に貢献できるよう努めたいと思いますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



マネジャー 長山 彩佳

高知県から出向してまいりました長山と申します。

四国の観光地を訪問するなかで常に観光振興に対する気づきの姿勢をもって、誘客促進の業務に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



マネジャー 流 諒磨

徳島県から出向してまいりました流と申します。

四国の魅力を発信し、より多くの方に四国を訪れていただけるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

代表理事の主な動性

- 3月 3日（月）せとうち讃岐ジオパーク構想推進シンポジウム
- 10日（月）定例会議・推進会議（当機構の会議）
- 24日（月）理事会・臨時社員総会
- 28日（金）定例会議・推進会議（当機構の会議）

（一社）四国ツーリズム創造機構
事業推進本部 ブランディングチーム
神野、藤井

TEL : 087-813-0431
FAX : 087-813-0312



SHIKOKUTOURISM

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日（火） ～2026年3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html

4月以降の主な予定表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
マーケティング（国内）	JAL麗らか四国キャンペーン2025（4月～10月）					
マーケティング（国際）				台湾商談会（7月8日/台湾）	ツーリズムEXPO（9月25～28日/愛知）	VJTM（9月25～27日/愛知）
ブランディング			理事会・社員総会・全体会議（6月9日/高松市）※16日記者発表			